

本年度の結果

	国語
阿蘇市	69
全国	72.8

領域別	話す・聞く	書く	読む	言語
阿蘇市	65.3	81.2	66.3	66.3
全国	70.2	82.6	72.2	67.7

観点別	関心意欲	話す・聞く	書く	読む	知識理解
阿蘇市	76.7	65.3	81.2	66.3	66.3
全国	76.5	70.2	82.6	72.2	67.7

本年度の主な結果について

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができる。
- 領域別観点別にみると、特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」に課題がある。
- 「話すこと・聞くこと」については、「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」「相手に分かりやすく伝わる表現を用いて話す」ことに課題がある。
- 「読むこと」については、文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 文章に表れているものに見方や考え方について、自分の考えをもつ(1三)
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く(3二)

【課題】

話すこと・聞くこと

- 話合いの話題や方向を捉える(2一)
- 相手に分かりやすく伝わる表現について理解する(2二)

書くこと

- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する(3一)

読むこと

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ(1一)
- 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える(1二)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 封筒の書き方を理解して書く(1四)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の勉強が好き、大切だ」と解答した生徒は、年々増加の傾向にある。
- 「国語の授業は将来社会に出たときに役に立つと思う」生徒は、全国を上回っている。

【課題】

- 国語の授業の内容が分かるかは、全国よりも低いものの、改善が見られた。
- 目的に応じて自分の考えを話したり書いたりする生徒は、全国を下回っている。
- 自分の考えを伝えるために、うまく伝えるように根拠を示している生徒は、全国を下回っている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りをする。
- 「話すこと・聞くこと」の指導改善に当たっては、目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる力を身に付けるために、話すことに関する指導事項と聞くことに関する指導事項との密接な関連を図って指導する。
- 「読むこと」の指導改善に当たっては、文章の構成や展開を理解し、内容を的確に捉える力を身に付けるために、文章の特徴を把握するとともに、内容や表現を想像、分析、比較、対照、推論などによって相互に関連付けて読むよう指導する。

【日常的な取組】

- 自分の考えを書く際は考えの根拠となる言葉を書かせたり、辞書で調べる習慣を身に付けたりするとともに、読書や新聞を読む習慣を養ったりする。速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、予習・復習の内容の充実を図る。